

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-515912(P2005-515912A)

【公表日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【年通号数】公開・登録公報2005-021

【出願番号】特願2003-550976(P2003-550976)

【国際特許分類】

| | | |
|----------------|--------------|------------------|
| B 3 2 B | 5/26 | (2006.01) |
| A 4 1 D | 13/12 | (2006.01) |
| A 6 1 B | 19/08 | (2006.01) |
| A 6 1 F | 5/44 | (2006.01) |
| A 6 1 L | 31/00 | (2006.01) |

【F I】

| | | |
|---------|-------|---|
| B 3 2 B | 5/26 | |
| A 4 1 D | 13/12 | |
| A 6 1 B | 19/08 | |
| A 6 1 F | 5/44 | H |
| A 6 1 L | 31/00 | C |

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月25日(2005.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

界面活性剤で処理された不織ウェブと、
コア層と少なくとも1つのスキン層とからなるフィルムと、
を備え、前記コア層は、或る重量割合の微孔生成フィラーを含有し、前記フィルムは、微
孔性となるように元の寸法の或る割合まで少なくとも一方向に引き伸ばされ、界面活性剤
処理された不織材に熱結合され、

前記ラミネートは、ASTM F1670-95に準拠した通気性バリアであることを
特徴とするラミネート。

【請求項2】

前記コア層は、重量の約35%から約75%までのポリオレフィン樹脂と、重量の約6
5%から約25%までのフィラーとからなることを特徴とする請求項1に記載のラミネー
ト。

【請求項3】

前記界面活性剤処理された不織ウェブは、スパンボンドポリオレフィンを含むことを特
徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項4】

前記界面活性剤処理された不織ウェブは、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリプロピ
レンのコポリマー、及びポリエチレンのコポリマーのいずれかのスパンボンドからなるこ
とを特徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項5】

前記界面活性剤処理された不織ウェブは、メルトブローンポリオレフィンの少なくとも

1つの層と、スパンボンドポリオレフィンの少なくとも1つの層とからなることを特徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項6】

前記引き伸ばし可能なフィルムラミネートのフィラーは、 CaCO_3 を含むことを特徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項7】

N F P A 7 0 2 - 1 9 8 0により試験された前記ラミネートは、クラス1材料についての20秒又はそれより大きい火炎伝播基準を満たすことを特徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項8】

外科用ドレープを構成することを特徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項9】

前記ラミネートが、少なくとも約 300 g/m^2 /24時間の水蒸気透過率を有することを特徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項10】

前記コア層が、第1スキン層と第2スキン層との間に挟み込まれることを特徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項11】

前記コア層が、メタロセンによる線状低密度ポリエチレンを含有することを特徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項12】

前記コア層が、線状低密度ポリエチレンを含有することを特徴とする請求項1に記載のラミネート。

【請求項13】

界面活性剤で処理され、複数の結合点で多層ポリオレフィン樹脂フィルムに熱結合された不織ウェブを含み、ASTM F 1 6 7 0 - 9 5に準拠した通気性ラミネートであって、前記多層フィルムの少なくとも1層がさらに、或る重量割合の微孔生成フィラーを含むことを特徴とする通気性ラミネート。

【請求項14】

前記多層フィルムの少なくとも1つの層が、重量の約35%から約75%までのポリオレフィン樹脂と、重量の約65%から約25%までのフィラーを含むことを特徴とする請求項13に記載の通気性ラミネート。

【請求項15】

前記界面活性剤処理された不織ウェブが、ポリプロピレン、ポリエチレン、ポリプロピレンのコポリマー、及びポリエチレンのコポリマーのいずれかのスパンボンドからなることを特徴とする請求項13に記載の通気性ラミネート。

【請求項16】

前記界面活性剤処理された不織ウェブが、少なくとも1層のメルトプローンポリオレフィンと、少なくとも1層のスパンボンドポリオレフィンとからなることを特徴とする請求項13に記載の通気性ラミネート。

【請求項17】

前記引き伸ばし可能なフィルムラミネートのフィラーが、 CaCO_3 からなることを特徴とする請求項13に記載の通気性ラミネート。

【請求項18】

外科用ドレープを構成することを特徴とする請求項13に記載の通気性ラミネート。

【請求項19】

前記ラミネートが、少なくとも約 300 g/m^2 /24時間の水蒸気透過率を有することを特徴とする請求項13に記載の通気性ラミネート。

【請求項20】

少なくとも幾つかの結合点が、ウェブと多層フィルムとの間の結合性の取付部を形成す

ることを特徴とする請求項1_3に記載の通気性ラミネート。